



編集機能



記事広告



地域連携

編集特集と広告特集で幅広く情報発信 「伊勢湾台風60年」

東海地方を中心に5,098人の命を奪い、甚大な被害をもたらした伊勢湾台風。本年9月26日に上陸から60年を迎えた。大規模災害が頻発する昨今、過去の災禍から学び、未来への教訓を得る特集紙面を掲載した。

伊勢湾台風発生当時、名古屋在住で被災したノーベル物理学賞受賞者の益川敏英氏のインタビューや防災・減災の識者による提言を編集特集として3頁掲載。加えて、8月に実施したシンポジウム「伊勢湾台風60年のつどい」の載録や、長期の停電などライフラインが断絶された被災時でも在宅避難を可能とする最新住宅設備の紹介などを広告特集として2頁。合計5頁の大ボリュームでの紙面特集となった。

連日大規模災害が報道される中、企業の安心安全・防災に対する意識は高い。中日新聞では、引き続き防災関連の特集・イベントを企画していく。

名古屋本社広告二部 小椋昌統

地域の方で守れ 新たな備えが必要... 伊勢湾台風60年 地域の方で守れ... 新たな備えが必要...

老化化する防波堤... ビル群や都市化の影響... 港のコンテナや自動車も「溺」に?...

未来への教訓... 若者たちは自ら立ち上がった... 益川敏英さん... 名古屋銀行のDNA... 災害備忘サービス...

▲▼2019年9月26日付 中日新聞朝刊 編集特集3頁（上）、広告特集2頁（下）

自然災害時の連絡方法は事前に確認を... 防災を身近に感じて非常時に備えよう...

後悔しないために保険を見直そう... 伊勢湾台風から60年 いのちを守る取り組み... ハウスメーカーが取り組む最新の防災で、災害後の生活に安心を...

【防災シンポジウム開催】 伊勢湾台風から60年 「わたしの証言～記憶をつなぐ」 中日新聞社では、「ぼうさいにくたい2019」の開催に合わせ、過去の災害を共有し語り継ぐことで、風水害や南海トラフ巨大地震への備えを考えるシンポジウムを開催します。 伊勢湾台風の被災者が語る「わたしの証言」、語り部と若者らが防災への思いなどを語り合う「未来の災害に備える」二部構成。 日時：10月19日（土）14:30～16:00 場所：名古屋コンベンションホール3階 登壇：久野時男氏（愛知県飛島村村長）、いとうまい子氏（タレント）、大石邦彦氏（CBCテレビアナウンサー）、寺本政司（中日新聞編集局次長）ほか 主催：中日新聞社 共催：CBCテレビ

伊勢湾台風から60年。防災意識を忘れずに... TOYOINK... サカイシステム株式会社... 40周年... 建築用資材... 建築用資材... 建築用資材...

木造住宅専門展示場「ウッドドレス」... あなたの暮らしを... THE... Total assist... 火災だけでなく、お住まいのリスクをしっかりとサポート。